

● 情報収集先 ●

■ テレビ

テレビの地上デジタル放送などによって災害時に緊急情報や避難情報を見ることができます。テレビのリモコンの「dボタン」を押してください。



■ ラジオ

インターネットによる情報収集ができない場合に役立ちます。ポケットラジオ、ポータブルラジオ、発電式ラジオなどを準備しておきましょう。



■ 携帯端末 / インターネット

● 気象庁



<https://www.jma.go.jp/jma/>

● 内閣府防災情報



<http://www.bousai.go.jp/>



● 国土交通省防災情報提供センター



<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

● 防災速報スマートフォン用アプリ



<https://emg.yahoo.co.jp/>

● 災害お役立ち情報



<https://e-suteki.haseko.jp/saigai/>

■ お住まいの地方自治体 防災ホームページ

<http://www.>



水漏れ・夜間の事故など緊急トラブルに関するお困りごとは…電話一本

24時間、365日、アウル24センターへ

長谷工コミュニティ

0120-811-240

長谷工コミュニティ九州

0120-492-739

長谷工コミュニティ沖縄

0120-492-798

〈台風・大雪〉
自然災害に
備える



長谷工 コミュニティ

長谷工 コミュニティ九州

長谷工 コミュニティ沖縄

〈台風・大雪〉 自然災害に備える

台風・大雪は予報により状況を把握することができますが、竜巻やゲリラ豪雨のように直前の緊急警報でしか情報をキャッチできない場合もあります。日頃から家族全員が防災に関心を持ち、9月1日(防災の日)や1月17日(阪神・淡路大震災発生)、3月11日(東日本大震災発生)など防災関連のニュースが発信される機会に家族防災会議を開き、「わが家の決まりごと」について話し合しましょう。



「アウル24センター」*の自然災害による緊急通報受信状況

*長谷工グループの総合監視センター…24時間365日、マンションからトラブルの通報を受けています。

台風による緊急通報 <2013年度>関東地方に影響のあった台風4件による代表的な緊急通報について

- 排水槽満水・異常の発報
- 雨水貯留槽警報の発報
- 窓周り、天井など部分漏水
- バルコニー隔て板破損
*パーティション
- 駐車場排水槽・ポンプ異常の発報
駐車場のポンプ故障や排水不良により地下ピットが冠水、駐車装置などの故障につながる状況が発生した。
- インターホンに雨水が浸入したことによる誤報
- エレベーターの停止(機械室などへの雨水浸入)
緊急性や公共性の高い施設が優先されるため、復旧に時間を要した。

大雪特有の緊急通報

- 機械式駐車場の作動停止
駐車装置の各種センサーに雪がつき作動しなかった。
- エレベーターの停止
エレベーター扉下の溝に雪が溜まり、扉が完全に閉まらなかった。



首都圏で大雨・大雪により被災したマンション

2014年7月の集中豪雨



2014年2月の大雪



防災の達人を
目指して
Let's check!!

■ 防災チェックリスト ■



■ 『わが家の防災自己診断 10』

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1 災害の影響が著しくなった時、相互に安否確認する方法が決まっている | <input checked="" type="checkbox"/> 6 どの時点で避難するか、家族全員が理解している |
| <input checked="" type="checkbox"/> 2 災害用伝言ダイヤル*の使用方法を知っている | <input checked="" type="checkbox"/> 7 家族全員がそれぞれの帰宅ルートを知っている |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3 避難場所や集合場所が決まっている | <input checked="" type="checkbox"/> 8 防災備品が用意され、設置場所も決まってお
り、充電や賞味期限を定期的に確認している |
| <input checked="" type="checkbox"/> 4 複数の避難経路が決まっている | <input checked="" type="checkbox"/> 9 ご近所同士の協力体制が日頃からできている |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5 非常時に持ち出すものを準備している | <input checked="" type="checkbox"/> 10 応急手当やAEDの使用方法を理解している |

*NTT災害用伝言ダイヤル「171」など。
ウェブサイト「災害お役立ち情報」にてご確認ください。 ● <http://e-suteki.net/sonaeru/>

■ 『備えておくもの』<地震時備蓄品としても有効>

- | | | |
|--|---|-------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 飲料水 | (3リットル*×3日分)×家族人数分 | *1日ひとり3リットルが目安です。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 食料品 | ご飯(アルファ米)、カップ麺、乾パン、缶詰類、レトルト食品、菓子類、バランス栄養食品、粉ミルク | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 衛生用品 | 救急箱(常備薬品、包帯、ガーゼ、絆創膏、はさみ、消毒液、軟膏など)、歯磨きシート、生理用品、紙おむつ、ウェットティッシュ、除菌ジェル・除菌消臭スプレー、マスク | |
| <input checked="" type="checkbox"/> トイレ | 災害用トイレ、トイレトペーパー、消臭・除菌剤 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 生活用品 | カセットコンロ(カセットボンベ)、固形燃料、ライター、マッチ、ラジオ、乾電池、懐中電灯、携帯電話の簡易充電器、スベアのメガネ、コンタクトレンズ、軍手、筆記用具、水用ポリタンク、ゴミ袋 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> あると便利なもの | ガムテープ、万能ナイフ、使い捨てカイロ、冷感ジェル、クーラーバッグ・保冷剤、ラップフィルム・アルミホイル、ホウキ・チリトリ、バケツ、新聞紙、ロープ、ビニールシート、寝袋 | |

スーツケースに収納しておくとスペースが有効に使えます。



■ 『非常時に持ち出すもの』

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 身につけるもの | 運動靴、懐中電灯、軍手、ヘルメット、マスク、ゴーグル、雨具・カッパ、防寒着 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 飲料水・食料品 | ペットボトル、給水袋、最低限の食料 |
| <input checked="" type="checkbox"/> その他日用品 | 携帯ラジオ、筆記用具、ウェットティッシュ、下着、その他個人的に必要なもの(常備薬、メガネなど) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 貴重品 | 現金(硬貨含む)、預金通帳、印鑑、運転免許証・身分証明書、健康保険証 |

両手がふさがらないリュックが安全です。



自然災害への備えとして、個人・管理組合それぞれにご確認いただきたいことをまとめました。

個人での備え



マンションは災害に強い建物だと言われていますが、台風や大雪で被災する可能性はゼロではありません。ご家族みんなで日頃から対策をしておきましょう。

管理組合での備え



「減災」の取組は、管理組合の強力な意思決定が必要です。管理会社と協力し次のような対策や役割分担を決めておきましょう。

<日頃の備え>

- 安否確認の方法を確かめておきましょう(電話線が切断した場合は携帯電話が有効)。
- 家族の間で避難場所や連絡方法を確認しておきましょう。
- 避難の際に持参する最小限の持ち物を両手が使えるリュックサックにまとめ、ケガから足を守る運動靴を用意しておきましょう。
- ライフラインが途絶えた時を想定し防災用品、備蓄品を備えましょう(※防災チェックリスト参照)。飲料用とは別に生活用水として浴槽に水を溜めておきましょう。
- 常備薬の必要な方は、不足がないよう補充しておきましょう。



- 関係諸官庁・最寄りの病院・エレベーター会社などの緊急連絡先リストを作成し、管理事務室に掲示するとともに管理組合役員で共有しましょう。
- 居住者名簿を作成し、保管しておきましょう。「一人暮らし、高齢者」を把握し、「近助」を心がけましょう。
- 防災マップ、ハザードマップを市役所・区役所の窓口やインターネットで入手しておきましょう。
※近年、住民による自主防災マップの作成が行われているところもあります。
- 樹木の支柱や敷地周囲の塀はすぐには補強や改修ができません。経年劣化したものは普段から改修しておきましょう。



- ベランダ・ルーフバルコニーの手摺に取り付けている個別アンテナや設置物(物干し・植木鉢)は危険なので、撤去または補強をしておきましょう。※マンション管理規約・規則違反となる場合は速やかに撤去しましょう。
- ベランダ・ルーフバルコニーの排水溝や排水口を清掃しましょう。
※ベランダの排水口は隣戸との共同使用です。
※排水口がゴミなどでつまると、雨水が溜まり、室内や階下への漏水につながる恐れがあります。
- 飛来物などによるガラス破損に備えて、窓に飛散防止フィルムを貼りましょう。
※フィルムの貼りつけについては、マンション管理規約・規則に定めがある場合は、管理組合への届け出が必要です。
- 気象情報を確認するツールを準備しておきましょう。
※裏表紙「情報収集先」参照



- エントランス・エレベーターピットや地下に設けてある施設への浸水対策に土のうを準備しておきましょう。また、設置場所と設置基準を決めておきましょう。
※市販で再利用可能な吸水性簡易土のうもあります。



- 管理組合で用意している備品を確認しておきましょう。
- 管理組合で加入している保険について確認しておきましょう。

■マンション共用部の火災保険の一般的な対象
火災、落雷、破裂・爆発、風災・ひょう災・雪災、建物外部からの落下・飛来、水漏れ、盗難 など
※地震は別途地震保険、水災は特約が必要なので注意しましょう。

<直前の備え>



- 窓は極力閉めたままにし、カーテンは引いておきましょう。



- 窓や玄関扉の下部より雨水が浸入する事があります。窓の鍵をしっかりとかけ、雑巾やタオルなどで目張りを施しましょう。



- 室内扉はしっかり閉めるか、フックに留めておきましょう。
※強風時に、窓や玄関扉を開けると、室内扉が勢いよく閉まり、壊れたり、手を挟まれる危険があります。



- 居住者への注意喚起や対策内容をあらかじめ整理し、掲示物として準備しておきましょう。

- 現在修理中および修理依頼中の箇所は応急処置を施し、被害が拡大しないようにしておきましょう。



